

平成30年度社会福祉法人むつみ福祉会事業計画（案）

スローガン

「暮らしやすい嬉野地域に貢献する取り組みをすすめる。」

運営理念

- 住み慣れた地域で、安心して暮らしていただける場を提供します。
- 一人一人が、その人らしい充実した日々を、健やかに、おだやかに過ごせるサービスを提供します。
- 地域や家族との結びつきを大切にします。

上記のスローガンや運営理論に基づき、また昨年度理事会で承認された中期計画を基に平成30年度の事業計画を樹立しました。

この中期計画を推進する時、(別図1)のようなイメージ図を想定し、初年度として次のような事業を計画しました。

I、地域と法人

地域と法人の関係は、「つながり」を持つため、信頼のある・地域に必要とされる法人にするため、やさしさあふれる地域協力をすすめます。具体的には、介護教室や、地域防災協定をとおして地域の方々との「つながり」を深めます。

1、介護教室

「継続は、力なり」と言われるように、過去5年間、教室の形は変わりながら実施してまいりました。この主旨を尊重してこれからも継続していきます。

今年も、年2回実施します。6月には、高齢化社会の中で、身内に介護者ができることを予想した学習や相談を実施します。12月には、純粹の学習のみでは、参加しにくいので、恒例行事になった「もちつき大会」「作品展」とあわせた介護教室を実施し、地域の方々との交流事業として実施します。

2、地域防災協定

平成28年6月26日に、中原地区自治会と協定書を締結し、その内容は、中原地区内において台風等で避難所を開設され介護の必要な方が避難されたときに、宿泊、排せつ等の介護力を提供させていただく、また、むつみ園が火災・水害等で利用者の避難に対して地域の方々の協力をお願いする旨の協定となっています。

課題となっていますPRや周知方法については、台風シーズン前に自治会長さんと連絡調整をしながら周知してまいります。

II、地域と施設

1、地域で豊かな暮らしを支援

地域は、家族の集合体と考えられるならば、家族と施設の「つながり」で暮らしを支援します。家族構成は多種多様ですが、高齢者を抱える家族では、介護制度がわからない家族もあると推察します。そのために、民生委員や公民館とのつながりを深め、居宅介護支援センターを中心にかかわっていくことで、制度等の理解を深めていきます。そして、各施設（グループホーム、デイサービス、特養）では、質の高いサービスを提供するように取り組んでいると感じていただけるような広報（たより）やホームページ等で紹介し、むつみ園を選択していただけるような施設づくりを目指していきます。

2、各施設を公開

① グループホームむつみ園（定数9名）・あゆみ園（定数9名）

1 重点目標

利用者が満足して生活できるような環境づくりに努めていきます。

- 良質なサービスの提供と向上に努めるとともに家族、地域等との交流を図り安心して生活していただけるよう努めます。
- 各種行事・レクリエーションを通して、生活に明るさと潤いを見いだしていただけるよう、職員の内外的な研修等により介護者としての質の向上を図る。
- 施設管理においては防災対策・事故防止対策等に取り組みながら、安全・安心した生活につとめます。

☆年間行事（別表1）及び職員年間研修計画（別表2）

② デイサービスセンターむつみ園（定数35名）

1 重点目標

平成28年7月1日に、新施設を開設し、利用者も増え順調に運営しています。利用者が「むつみ園に来てよかった」と言われるような施設となるよう努めます。

「特色あるデイサービスづくり」

- 利用者の元気を最大限に引き出せるデイサービスづくりのため、リハビリをはじめ、利用者の創作活動の支援、日常動作訓練、会話時間を大切にすることなど、その人らしい時間を過ごしていただけるように努めます。
- 職員の質とサービスの向上を図るため、各種研修会等の参加や資格取得に向けての取り組みができるような職場づくりをします。
- ボランティアの積極的な受入れにより、地域の方々との交流を図っていきます。

☆年間行事（別表1）及び職員年間研修計画（別表2）

③ 居宅介護支援センター

1 重点目標

平成30年度の目標として、対応ケース（平成29年12月1日現在：84名）110名を目指していきます。民生委員との「つながり」や、第二包括支援センターをはじめ、第一、第四包括や済生会、市民病院、中央病院のソーシャルワーカーに対してむつみ園の認知度を高めるとともに、紹介されたケースに対してしっかりとした対応で信頼を得るようにします。

○利用者には的確なサービスを提供し、職員は、自身の質の向上ができるように、各種研修会、事例検討会等に積極的に参加します。

○利用者、関係機関等とのつながりを深めるために情報共有等を強めていきます。

○平成29年12月1日現在介護度別利用者数

単位：人

介護度別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
利用者数	5	8	29	26	10	5	3	0	84

④ 特別養護老人ホームむつみ園

1 重点目標

「むつみ園運営理念」

- ・住み慣れた地域で、安心して暮らしていただける場を提供します。
- ・一人一人が、その人らしい充実した日々を健やかに、おだやかに過ごしていただけるサービスを提供します。
- ・地域や家族との結びつきを大切にします。

理念に基づき、施設として、利用者さんの大切な時間を楽しく過ごせるように取り組みます。

○入居者が安心して生活できるように職員の介護技術の向上を図り、一人一人が望まれている生活が送れるように支援します。

○安全で安心した生活ができるように、防災対策、事故防止対策等に取り組みます。

○地域の皆様に気軽に来ていただける「開かれた施設」を目指します。特に中原幼稚園児との交流会は、毎年実施していきます。

☆年間行事（別表1）及び職員年間研修計画（別表2）

□ 旧デイサービスセンターの再利用について

試行錯誤中ですが、平成29年度においては、当法人のイベント利用、地域の会議、第二包括の勉強会等に利用しておりますが、再利用の環境が整うならば、次のような事業を考えております。

① 緩和型 デイサービスセンター むつみ園の事業開設

松阪市介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービスA（緩和型）の導入

週4回、1日（10時～15時）5時間で、パート2名、65歳以上の要支援者を対象

にしたもので、送迎付きです。

② 市独自「新しい総合事業」の一環事業（高齢者を支えるための地域づくり）
いわゆる、閉じこもり高齢者を対象とした事業で、介護予防の集いの場の提供、ボランティア研修等の会場提供をします。

③ むつみ園独自の利用

従来どおりの、イベント（もちつき大会）、地域の会議等に利用します。

いずれも、地域のニーズに合った事業を、中期計画の早い時期には、再利用の実施をします。

Ⅲ、法人と施設

法人と施設の関係は、表裏一体の関係にあります。

福祉は、マンツーマンの仕事です。むつみ園は、地域の労働力を必要としています。また、地域に労働の場を提供しています。

むつみ園で働く職員の職場環境の整備や働きやすい環境づくりに努めています。

このことは、第2期（後段）中期計画（平成30年～35年）に定めています。

1、働く人のチャレンジと成長を支える組織

(1)「職員が生き活きと働ける風土」

- ア、職員の多様な働き方を推進
- イ、職員満足度の高い職場
- ウ、法人内外の活発な交流・研修
- エ、働く人の心身健康増進の取り組み

(2)「働く人が成長できる組織」

- ア、戦略的なジョブローテーション（いろんな経験）の稼働と定着
- イ、職員のキャリアパスの確立（専門職制度の確立）
- ウ、法人内外研修の充実

(3)「チャレンジする組織」

- ア、女性管理職の積極的登用
- イ、横断的なプロジェクトチームの確立
- ウ、法人戦略を担う職員の確保 ⇒ 「法人戦略プロジェクト」の創設

2、働く生きがい

- ア、労働者としての働く権利を保障
- イ、働きがいある仕事の実現
- ウ、地域における就労支援の役割

3、一人一人

- ア、社会において、主体的な自己実現、社会参加できる環境
- イ、専門的技術者の取得支援

ウ、やりがいと生きがいをもって仕事ができる環境

エ、仕事を活かして、やりがいのある活動支援

以上の中期計画をベースに取り組みます。具体策としては、

1、人員配置計画

職員と利用者（入居者）との信頼関係を進める観点から、昨年度に引き続き、職員を固定化、専門化するとともに将来各施設の中核となる職員を育成することに努めます。

（1）各施設の主任、リーダーやそれに準ずるものに対しては、異動により他の施設の実務経験を通して、将来施設の長としての基礎固めができるよう配慮していきたいと考えています。

2、職員健康管理計画

職員全員が健康維持に十分留意し、仕事に集中できるような体調、精神状態を保つことができるよう配慮します。

（1）職員健康診断

全職員対象に「松阪健診センター」へ委託し、5月・11月に健康診断を実施し、夜間勤務対象者は、年2回を計画しています。また、衛生推進委員を2名（施設長・看護師）選任し、職員の健康保持に努めます。

（2）福利厚生

年次有給休暇の消化促進に配慮します。

（1日及び半日単位でなく、1時間単位での有給も認めています。）

3、危機管理

（1）防災訓練

消防法で定められた定期的な防災訓練を実施します。法人独自には夜間に火災が発生した場合を想定した訓練や、地域の方の協力を得た（地域の主催する訓練）防災訓練に積極的に参加します。

また、平成26年に購入したAED「Automated External Defibrillator」（自動体外除細動器）も、職員が研修し、利用者はもとより、地域の方々にも利用していただけるよう本年も啓発します。

（2）利用者の事故防止

介護サービス提供中に事故（転倒防止、感染症等）が発生しないように、職員全員が常日頃から発生の防止と予防につとめます。発生した場合には、その処置の万全を尽くすと共に善後策を講じ、カンファレンスを開催し、再発防止に努めます。

（3）交通安全対策

最近、ドライブレコーダーの効果が謳われています。当法人も軽トラを除く法人車全車にドライブレコーダーを設置します。（平成29年度から車検時及び点検時に設置）

IV、健全でタフな財政基盤の構築

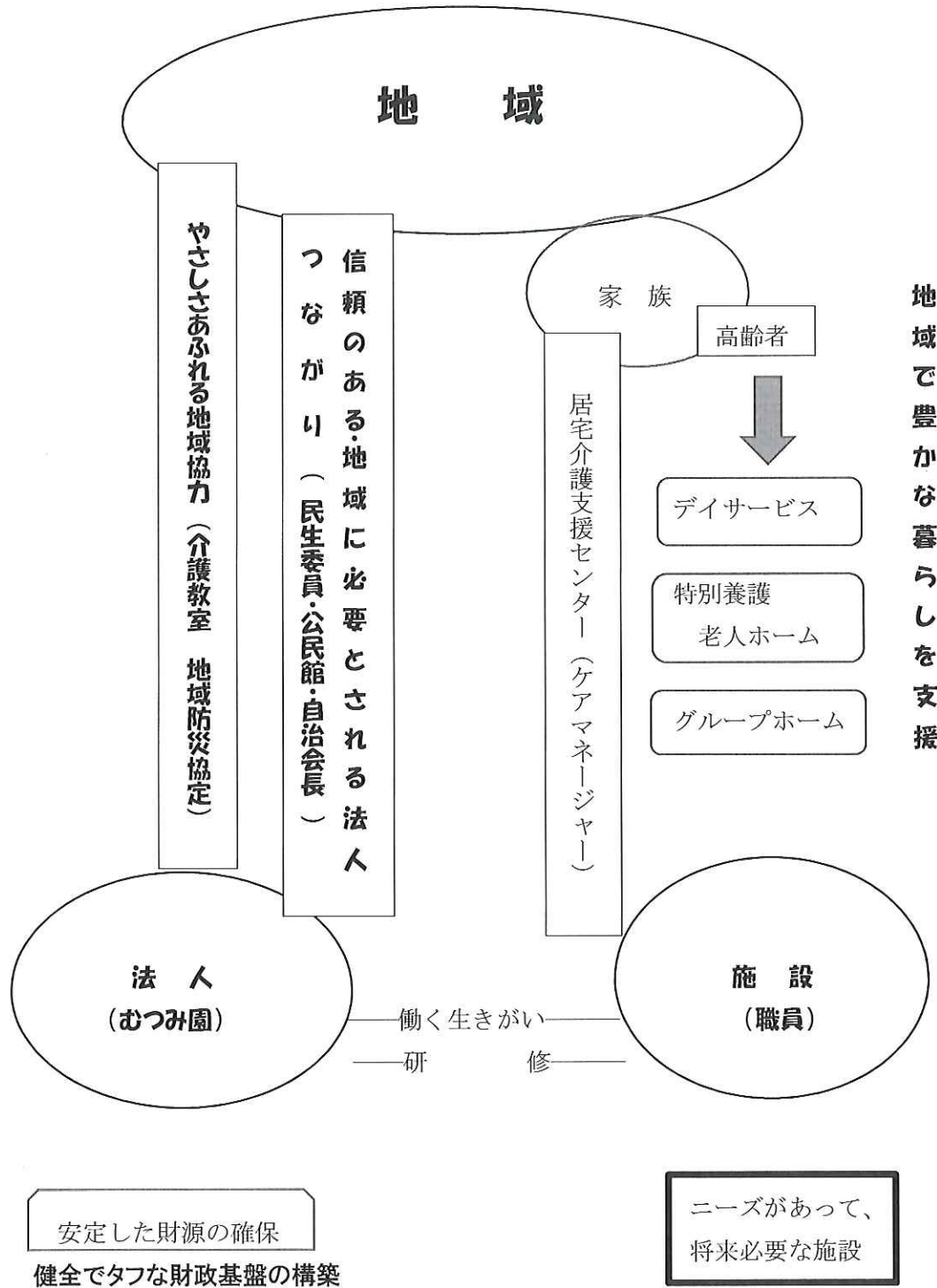
- (1) 「事業が継続可能となる安定した財源の確保」
 - ア、各事業における収益目標の具体的な設定
 - イ、各事業の業務分析による固定費削減目標の設定
- (2) 「戦略的投資ができる財務体質」
 - ア、将来の新規事業のための財源の確保
 - イ、採用・人材開発への積極的な投資
- (3) 「職員一人一人が財務への興味を持つ」
 - ア、財務に関する勉強会や研修の開催
 - イ、各事業所の財務状況について進捗管理を確実に進める。

(別図 1) (議案第15号関係)

地域とむつみ園の関係イメージ図

スローガン

「暮らしやすい嬉野地域に貢献する取り組みをすすめる。」



(別表 1)

むつみ園年間行事計画(平成30年度)

月	区分	Gむつみ園	Gあゆみ園	ディサービス	特養	法人
4	行事名	お花見・誕生会	お花見	桜見・おやつ作り	お花見	
	行事内容	プチピクニック(鑑賞)	花見(ドライブ)	中村川堤防桜鑑賞	花見(外出・中川堤防)	
5	行事名	端午の節句	端午の節句	端午の節句	端午の節句	
	行事内容	菖蒲湯に入浴	菖蒲湯に入浴	こいのぼり作成	菖蒲湯に入浴・ちまき	
6	行事名	あじさい鑑賞	あじさい鑑賞・誕生会	あじさい祭り	あじさい見学	介護教室 (講座・相談)
	行事内容	プチピクニック(鑑賞)	あじさい見物	折り紙作成	あじさい見学	地域交流
7	行事名	七夕祭り	七夕飾り	七夕祭	七夕祭り	
	行事内容	七夕飾り	笹飾り	笹飾り、短冊に願い事を	笹飾り、短冊に願い事を	
8	行事名	夏祭り・誕生会	夏祭り・誕生会	夏祭り・誕生会	流しそうめん	
	行事内容	盆踊り大会	夏祭りの気分を味わう (金魚すくい等)	金魚すくい、輪投げ等	夏の暑さをしのぐ	
9	行事名	敬老会・誕生会	敬老会	敬老会	敬老会	
	行事内容	長寿を祝う	プレゼントで長寿を祝う	イベント食	長寿を祝う	
10	行事名	収穫祭・誕生会	運動会	運動会	お月見会	
	行事内容	さつま芋でお菓子作り	運動会の実施	室内でできる運動会	秋の飾りつけ	
11	行事名	紅葉鑑賞・誕生会	収穫祭・誕生会	文化祭	お楽しみ会	
	行事内容	秋のおやつを提供	季節の食材を使った料理作り	作品作り	おやつレク	
12	行事名	クリスマス会	クリスマス・誕生会	クリスマス会	クリスマス	介護教室 (もちつき大会・作品展)
	行事内容	クリスマスのイベント	クリスマスプレゼント	職員による余興・コスプレショー	ツリーの飾り付け	地域交流
1	行事名	新年会・誕生会	新年会・誕生会	新年会・おやつ作り	新年会	
	行事内容	獅子舞の振舞い	カルタ・福笑い等のレク	むつみ神社参拝	新年を祝う	
2	行事名	節分・誕生会	節分・誕生会	節分	節分	
	行事内容	豆まき	豆まき	豆まき	豆まき	
3	行事名	桃の節句・誕生会	ひなまつり・誕生会	ひなまつり	ひなまつり	
	行事内容	ひな人形飾り	ひな人形飾り・写真撮影	ひな人形飾り	ひな人形飾り	

(別表 2)

年間研修計画(資格取得)

平成30年度

施設名	研修内容	単価	人数	金額
Gむつみ園	認知症介護実践者研修	15,200	1	15,200
Gあゆみ園	認知症介護実践者研修	15,200	1	15,200
デイサービス	実習生指導者研修、認知症研修	15,200	1	15,200
居宅介護	地域包括主催の事例検討会(毎月)	0	1	0
特養	ユニットリーダー研修 1名	150,000	1	150,000
	認知症介護実践者研修	15,200	1	15,200
	実習生指導者研修(県社協)	0	1	0
事務局	会計簿記	10,000	1	10,000
合 計		220,800		220,800

法人内研修年間スケジュール(一般教養及び専門技術)

平成30年度

実施月	研修内容	講師	開催日	時間
4月	法人理念(仮題)	大北理事長	4月13日	17:45～1時間
5月	安全運転講習(損保会社から見た交通安全対策)	あいおいニッセイ同和損保	5月11日	17:45～1時間
6月	食中毒について・トロミ試食会	池田栄養士	6月8日	17:45～1時間
7月	経理規程・給与規程・退職金規程について	福島理事	7月13日	17:45～1時間
8月	認知症サポーター養成講座	松阪市第二包括	8月10日	17:45～1時間
9月	防災について	松阪消防署	9月14日	17:45～1時間
10月	感染症対策について	松阪市「出前講座」	10月12日	17:45～1時間
11月	高齢者虐待・身体拘束について	松阪市「出前講座」	11月9日	17:45～1時間
12月	手話講座	松阪市	12月14日	17:45～1時間
1月	防犯について	松阪警察署	1月11日	17:45～1時間
2月	人権擁護について(人形劇)	サンサングループ	2月8日	17:45～1時間
3月	レクリエーション	むつみ園デイサービス	3月8日	17:45～1時間